

ガバナー一月信 vol.09



ロータリー 第2560地区

材団セミナー・補助金管理セミナー



ロータリーで良いことをしよう



■ガバナーメッセージ	1
■ロータリーショーケース	2-15
■新入会員紹介・訃報	16
■会員数及び出席	17
■コーディネーターNEWS	18-19
■ハイライトよねやま	20-21



もうすぐ暖かい春ですね

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナー 佐藤 真（村上岩船）

三寒四温と少しずつ春が近づいてきましたが、まだまだ寒い日が多く皆さまには体調管理に十分お気を付けいただきたいと思います。COVID-19ワクチン接種が2月17日より、医療従事者の方々から始まりました。ワクチンの供給不足や副反応、接種方法など様々な懸念はありますが、一日も早く終息に近づくことを願っています。

先月、ホルガー・クナークRI会長、地区ガバナーと地域リーダーでバーチャル・ミーティングが開催されました。三ヶ国を繋いだZoom会議で、日本時間は午後9時、ドイツは午後1時、そしてアメリカが午前6時から90分間行われました。15名の代表が地区やその役職での奉仕活動を発表し、それにクナーク会長がコメントを行う方式で、主題はロータリーの永遠の課題である「会員増強」でした。クナーク会長は純増目標を設定しないかわりに、退会防止に重点をおき活動するよう依頼されました。COVID-19禍で今どの地区も会員増強に苦慮しているようですが、目新しい取り組みも発表され参考になるものもありました。例えば例会をハイブリット形式で行い、気軽に卓話が聴けるといった特典を持つウェブ会員を広く募集する方法です。ウェブ会員の会費については食事の費用が掛からず、安価に設定することにより、その輪が広がれば広報・公共イメージの向上にも繋がります。そして会の趣旨を理解し賛同が得られた方から正会員になって貰うという流れです。また、新クラブの代わりに衛星クラブを立ち上げ、将来的にはロータリークラブに昇格するか親クラブへ入会してもらう方法も紹介されました。他にもローターアクトクラブを学校に立ち上げた事例や、女性会員を増やす取り組みも提供されました。しかし、一番切実なのは過疎化による人口減少に伴い会員数が減っている地区の問題でした。会員数がもう少しで1,000人を下回りそうな地区からは、改善方法の問合せが寄せられ、当地区も他人事ではないと感じました。

今、RIは会員増強、リーダーの育成と若年化を推進しており、ローターアクトの年齢制限の撤廃やSRF（ロータリーの未来形成）などに取り組んでいます。ただ、ロータリーは国によって異なり、日本国内ですら地域によって奉仕活動に違いがあります。ただしその中で私たちはロータリーの目的から逸脱することなく、同じ中核的価値観と四つのテストを胸に良い奉仕活度を実践しなければなりません。今年度の残り4か月も頑張っていく所存ですので皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。



黒川伊保子氏講演会

新発田ロータリークラブ
社会奉仕委員会
委員長 樫内 宏基

新発田ロータリークラブでは、社会奉仕の一環として12月に一般市民向け講演会を開催いたしました。講師の黒川伊保子氏は一昨年新書部門ベストセラー2位「妻のトリセツ」の著者で元AI研究者の経歴もお持ちの方です。お話の主旨は男女の脳には特性に違いがあり、その違いが互いを理解しにくい大きな溝になっている。その事を理解すれば夫婦間でイライラすることが減り関係改善に役立ち、応用すれば職場もうまく回るようになる、という建設的なものでした。

男性は人類の歴史上、狩猟・住居など生存環境確保担当でした。そのため目標集中型で家族の大枠の安全を整えることに気を遣うので細かいことに気が回らない、会話も狩りの妨げになるので得意ではないということ。一方女性は子育て・健康衛生管理担当でした。そのため子育ての情報共有や協力体制を持つため共感をベースとしたコミュニケーションを得意とし、細かい変化に気が付き、同時にいくつものことを考えることができるようになったとのことでした。

家庭を平和にする一番のポイントは、妻の話に「いいね！」と共感することだそうです。

ただまったく喧嘩をしないのも良くないそうで「夫婦がお互いの違いにムカつきイライラしながらもそれぞれの脳特性を発揮し合うことでその群れ（家族）の生存可能性が最大になる」とのことでした。

運営面ではコロナ対策に配慮しました。具体的には本来の収容人員の三分の一に縮小したことで聴衆間隔を2m以上確保したこと、検温・マスク・消毒の徹底、マナー喚起文書の配布等です。佐藤ガバナーの「ロータリーで良いことをしよう」を念頭に企画運営し、多くの参加者に喜んでいただけたと思います。また当事業には第2560地区補助金を活用させて頂き感謝申し上げます。





「熱く盛り上がれ城南のワ！！」

新発田城南ロータリークラブ
幹事 高橋 敏幸

昨年の2月、COVID-19の集団感染が起きた豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の大検疫開始から一年が経ちました。当クラブでは昨年3月、第三例会よりWEB例会を開催し、ホームページに動画を上げて会員の方々に視聴していただく方法をとりました。緊急事態宣言が解除をされた5月からは通常例会を行っていましたが、再び全国的な感染拡大を受け今年の1月よりWEB例会を行っております。今年のWEB例会では新企画として親睦家族ニコニコBOX委員会による『熱く盛り上がれ城南のワ』という企画が始まりました。毎回一人の会員の方にご登場いただき、画面の前の皆さんへ元気が出るメッセージやご自分の元気の源をお話していただき、最後に次回の登場者を指名していただくという企画です。指名をされた会員の方は基本的には断ることが出来ませんので、次は自分が指名されるかもしれないと思いながら動画を観ている方もいらっしゃるかと思います。また、米山記念奨学生のエンフバートルミシエール君ですが、このコロナ禍は留学生にとっては大変不便で辛い状況だと思います。当クラブでは常に気を配るよう心がけています。夏はトレッキングをし、先日は一緒にスキーを楽しみました。



WEB例会撮影風景



ミシエール君とスキー前のワンショット
(撮影時だけマスクを外しました。)



「藤塚浜海水浴場海岸清掃 & 浜茶屋バーベキュー」

新発田城南ロータリークラブ
幹事 高橋 敏幸

当クラブでは令和2年7月26日日曜日、会員16名とその家族10名の計26名が参加し、新発田の藤塚浜で海岸清掃を行いました。藤塚浜海水浴場は県立紫雲寺記念公園内にある白砂青松遠浅の海水浴場で、白い砂浜のある水質の良い遠浅の海です。例年ですと夏には県内外から大勢の海水浴客が訪れ、キャンプや温泉、公園や運動施設、愛鳥センターなどで様々な体験を楽しんでいます。この日の清掃ではタイヤやクーラボックスの蓋、プラスチックが劣化して小さい破片になったもの等のゴミが沢山あり、海洋汚染のもとを実感しました。清掃後は浜茶屋「やまと」でのバーベキューにて親睦をはかりました。ナスや枝豆、珍味では黒ニンニク、イノシシの肉などを持ち寄り、会員によるプロの料理の腕前に舌鼓を打ちました。コロナ禍でどのように社会奉仕をし、どのように会員同士のコミュニケーションを図るかは、大変難しい課題ではありますが、新発田城南ロータリークラブでは、その時々で臨機応変に『今、私たちに何が出来るか?』を模索しながら活動しております。

(社会奉仕委員会、親睦家族ニコニコボックス委員会合同主催)



感染予防対策をしておのゴミ拾いです。



バーベキューは密を避けて外で行いました。



COVID-19禍に思う事

村上岩船ロータリークラブ
会長 藤井 一男

今年は、「COVID-19」の影響で東京オリンピックをはじめ、プロ野球、サッカー、卒業、入学の学校行事、式典が余儀なく中止、変更されました。また、株価は高いのですが経済状況の衰退が過去最悪の2008年リーマンショックに匹敵すると云われております。

しかし、我々人間が生きていく限りウィルスの脅威と戦いながらウィルスと共生を図る。これは人類が避けては通れぬ道と考えます。今年は、事業や日々の暮らしが厳しく、辛抱の年になっています。継続事業であるクラブ主催の小学生野球大会も開催する予定でしたが、やむなく中止といたしました。本来なら16チーム集まるメイン事業、夏の風物詩的な事業だったので我がメンバーは、複雑な気持ちだったと思います。

そんな中で、我がクラブは、昨年7月に村上市岩船郡内中学校体育特別大会において、熱中症予防のOS-1ゼリーを寄贈しました。受け取っていただいた郡市中学校校長会渡辺会長からは「非常にありがたい。昔よりも気温が異常に高い。我々の時代も熱中症はあったが、ここまで頻繁ではなかった。ありがたく使用いたします。」と大変喜んでいただきました。

例会については、ゲストスピーカーは、お招きできませんでしたが、12月までは通常例会で行いました。

1月に入り、村土地域でCOVID-19の感染者が9名確認されたため、理事会で協議の結果、1月例会は休会としましたが、「今、休会が続くと、どこで再開したらいいかわからなくなる。オンライン例会をしたらどうか。」という意見が出て、2月からZoomを使ったオンライン例会を実施しているところです。私の気持ちとしては、村土地域の感染者が増加しなければ3月半ばから通常例会に戻したいと思います。

何といたってもロータリークラブの基本は、通常リアル例会ですから。





COVID-19禍に思う事

佐渡ロータリークラブ

会長 前田 朋信

人の動きが止まってから1年が経過しましたが、感染状況が落ち着くことへの期待感が高まる一方で、現実にはなかなか改善されず、そのギャップが続いて疲れてきている気がします。

佐渡市では、ここまで島民の感染がなく、落ち着いた状況となっていますが、昨年1年間は、地域のお祭りや国際トライアスロン大会、オープンウォータースイミング、ロングライドなど、島外から多くの方に来ていただくイベントが中止となり、地域の活気もやはり今一つです。

そのような中で、当クラブでは、会員それぞれが感染対策に努めることはもちろん、当地の感染状況も踏まえ、例会は全国的な感染拡大前と同じ形態で開催しています。

しかし、昨年来、予定した創立50周年式典が中止となり、佐渡RC杯フットサル大会など、クラブ会員以外の方との接触が多くなる主催・後援イベントが軒並み中止となり、思うような活動はできていません。実施できた加茂湖畔の桜並木草刈清掃の奉仕活動は、貴重な機会となっています。

他のクラブの皆様とも直接お会いできる機会も少なくなりましたが、佐藤ガバナーはじめ役員の方々にはWebを通じて「一堂に会する」機会を作っていただいていることに感謝申し上げます。

このことに限らず、会員の事業活動や買い物など日常生活の場面でもデジタル化が一層浸透してきています。移動時間の節約にもなり、便利だとは思いますが、外出のない買い物も味気なく、皆さんで実際に集まる「雰囲気」がやはり感じられません。新しい日常ということで何事につけ対面なしが定着してしまうというのは残念です。その場の空気感も欲しいと思います。

月並みですが、感染症が早く収束して、気兼ねなく移動ができ、いろいろな方と対面できることを願うばかりです。





いままで、そしてこれから

新潟中央ロータリークラブ
会長 中村 真規

ちょうど1年前、日本でもCOVID-19感染拡大が顕在化し、すれ違う殆どの人がマスク姿という、今までにない風景へと変わり始めていた。そんな1年前から今日までを振り返り、また、いま思うことを備忘録的に書き留めたいと思う。

【例会】旧新潟市内7RC合同例会を終えて間もない昨年2月の終わりに、突如「来月から暫くの間は休会になります」との連絡が入った。次年度に向け活動が本格化してきた時期であり、経験豊富な諸先輩方から種々の教えを受けたいと思っていた矢先の出来事で、非常に戸惑ったと記憶する。ただ、5月には短縮例会が再開、6月からは卓話無し例会、8月からは通常例会となり、会員数が少ないことからソーシャルディスタンスを保ち易いという不本意なメリットのおかげで、新潟中央RCはいち早く例会を再開し現在に至る。

【ガバナー訪問】次年度ガバナー輩出クラブとしては、佐藤ガバナーに直接ご訪問いただきご指導を受けるべきだとの意見もあったが、最終的には、ガバナーエレクト輩出クラブだからこそ佐藤年度の方針である「オンライン訪問が原則」に従うべきであるとの私の意見を尊重していただいた。当日は例会終了後に全会員が別室に移動し、オンラインで佐藤ガバナーをお迎えした。事前にオンラインテストがない一発勝負だったので不安でいっぱいだったが、結果としては大成功だったと自負する。

【会長挨拶】新潟中央RCには経験の浅い会員も多いため、会長挨拶の時間を利用してロータリークラブの歴史や奉仕活動の意義などを解説し、全会員からロータリークラブをより深く理解してもらい、ロータリアンであることに誇りを持ってもらえるよう心掛けている。

【新会員】COVID-19禍において、新会員2名、再入会2名の合計4名が新たな仲間として加わってくれた。ただ、ロータリークラブは奉仕活動を行い、他クラブや地域の方々と親睦を深めてこそ本当の楽しさが分かるものと思われ、満足な活動ができていない現状で、特に新会員2名の心情がとても心配である。現年度最大のテーマに位置付けられるが、COVID-19禍においても実行可能な活動について模索中である。

【最後に】COVID-19禍におけるロータリー活動につき、諸先輩方が積み上げてくださった過去の経験が思うように生かせていないが、これをネガティブに捉えず「新生新潟中央RCの初代会長である」という強い気持ちを心の奥に秘め、残りの任期を全うできればと考える…よう心掛けます！



“コロナを超えて” ～クラブ活動の変化～

五泉ロータリークラブ

会長 渡辺 正治

新型コロナの感染拡大により、経済活動を含む社会生活は大きな制約・変化を余儀なくされています。ロータリークラブの活動も例外ではありません。五泉RCでは、会員の高齢化等によるクラブ存続懸念を抱えるなかでの新型コロナの感染拡大となり、会員の退会防止、親睦を通じての友情を深める機会とすべく、クラブ活動の在り方を悩みながら模索しています。

新型コロナ発生以前は、月4回の昼例会を開催し、食事懇談・講師を招いての卓話・会員の職場訪問等に加え、早朝清掃等の奉仕活動を行っておりました。

然しながら、新型コロナの感染拡大以降は、「3密」・「感染リスクが高まる5つの場面」を回避するため、一時は、昼例会の開催頻度を月2回にするなどの対策を講じました。現在は、コミュニケーションの基本は「face-to-face」とする考えに立ち返る一方で、会員所属企業のコロナ対策にも配慮して、食事を折詰弁当(持ち帰り可)に変更するなど、会員の選択肢を増やす工夫をしながら、昼例会の開催頻度を月4回に戻して、会員相互の親睦を図るとともに、コミュニケーションの維持・深化に努めております。

コロナ禍のなか、思うような活動ができないことに忸怩たる思いを禁じ得ない日々が続きますが、関係各位のご尽力の結果、五泉RCが主催する「第41回五泉ロータリー杯少年野球大会」を、無事に開催することができましたことは、当クラブの大きな喜びとするところです。

ガバナー公式訪問のオンライン化・DVDによる研修の実施など、新たな試みを経験・体験させていただき、今までとは異なるコミュニケーションの在り方を学ばせていただいております。

五泉RCにおきましても、引き続き、「ロータリーは機会の扉を開く」「ロータリーで良いことをしよう」という国際ロータリーのテーマおよび地区運営方針の実践・実現の場となることを目指して、微力ながら、クラブ運営に力を尽くしたいと存じます。



【コロナ禍以前に実施の職場訪問】



COVID-19禍での対応、 そこで感じ、そして思う事

燕ロータリークラブ

会長 杉山 正

本当に世界が一変してしまった。最初はどうか変わっていくのか分からない状況の中、マスクや消毒液が店頭から消えていきました。中国からマスクをもってくると知り合いが言いました。当社も分けてもらい社員に配ることにしました。燕ロータリーのメンバーでも、やはりマスクを中国から手に入れて必要としている人に分ける、市や医療従事者に寄付した人もいました。

マスクが当たり前になり、人からマスクをしていないと変な目で見られるようになりました。出張に出た社員が帰って来るという時に会社に出勤させて大丈夫なんですか？2週間自宅待機させて下さいとの声上がり、そこまでしなければならないのかと、まるでカルチャーショックを受けた思いでした。

当時女性社員に妊婦さんがいて周りの社員が気を使つての事とはいえ、出張に出た社員も感染対策に気をつけながらみんなのために営業をして帰ってきた時に申し訳ないと思いつながらも、結果自宅待機していただきました。東京支店にいるある営業が俺たちはどうなるんだと、それではまるで差別ではないかと。そういう反応もありました。

出張や県外にでることが出来なくなりました。ある営業は家族から、出張に出ないでくれと言われ、営業だから出ることもあると答えたら「俺を見捨てるのか」と言われたという話まで出てきました。

ご存知の通り、居酒屋さんレストランの飲食業・サービス業に携わる人たちが普通に営業できない状況がうまれました。時間制限や大勢での飲食が出来なくなってきたことにより大きく売上を落とす。また、お店自体を閉めて廃業に追い込まれる所が出てきて失業者も増えている。

燕RCでも例会を一時休会とする対応を取らざるを得ない状況がありました。緊急事態宣言が発令された時にも一時休会をする対応を取りました。しかし、今はマスクをして密閉、密集、密接をさけて例会を行っています。昼食も十分にスペースを空けて食事を取っています。健康を保つことに気をつけて、サービス業に従事する人たちも仕事が少しでも多くできる。また、大学生が授業料や生活費を出せずに困っていることから燕RCでは僅かではありますが、あしなが育英会に寄付をしています。

こんな状況下ではありますがクラブ活動を出来る限り細心の注意を払い行っていきたいと思っておりますのでご協力をお願い致します。



COVID－19禍に思う事

見附ロータリークラブ

会長 窪 哲明

COVID－19感染により。大きく生活様式が変わりました。

文政11年11月22日 三条地震の折り、良寛さまは友人に宛てた書信に「災難に遭う時節には、災難に遭うがよく候。死ぬ時節には死ぬがよく候。是はこれ災難をのがるる妙法にて候。」と書かれている。災難遭った時、我々は大抵、蜘蛛の巣に引っかかった虫のごとく、じたばたともがき苦しむ。じたばたしてもどうしようもない事を知りつつ尚且つじたばたせざるを得ないので有る。

災難を災難と諦めて受け止め無心で居られるのは、良寛さまが禅僧だからである。我々は、そうと分かっている、なかなか出来ない。いっそ諦めきれぬと諦めようかと思うくらいである。

COVID－19感染者増加しつつある中、従来通りの活動は出来ませんが、そんな中

1、昨年より始めた“おくつのベット”を市内の全保育園（新入生）に配布する。

2、見附市役所からのトイレバスのクラウドファンディングへの寄付

以上2つを社会奉仕として実施させて頂きました。



COVID-19禍のクラブ活動

長岡ロータリークラブ

会長 米山 孝之

2020-2021年度RI会長ホルガー・クナーク氏のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、同第2560地区ガバナー佐藤真氏の地区運営方針「ロータリーで良いことをしよう」を受けまして、同長岡RC会長のテーマとして「ロータリー活動の機会を通じて、ロータリーの良さを実感しよう」というものを掲げさせていただきました。その趣旨としましては、会員の皆様が様々なロータリーでの活動に参加し、ロータリーの良さを感じてもらうことによって、会員同士の絆が深まり、会員基盤の強化に繋がって欲しいということになります。この長岡RC会長テーマを実行するために、年度当初には、COVID-19禍ではありましたが、各委員会の委員長の皆様から、可能なかぎり、これまで通り対面形式での例会や奉仕活動を計画していただきました。年度が始まってからは、COVID-19の新規感染者数の推移を確認しつつ、各委員会の委員長の皆様には、遣り方を工夫することによって、可能なかぎり、中止にせず、計画を実施していただくようお願いをまいりました。

具体的には、年度当初には、親睦を図る機会を確保するため、毎月1回は対面形式での夜例会を計画していただいておりますが、現在のところ、実施できたのは、7月、11月、1月の3回のみとなります。このうち、11月の職場訪問例会につきましては、新潟市のNTT東日本データセンターを見学させていただきましたが、参加会員の密を避けるため、2週に亘って実施することで1回の参加者を少なくするという工夫をいたしました。また、1月の新年会につきましては、例年ですと芸妓さんの舞踊を鑑賞しながら飲食をするという形式でしたが、今年は、飲食を省き芸妓さんの舞踊を鑑賞するという簡素な形式で実施いたしました。さらに、今年に入ってから、COVID-19の感染対策として、会員が集まる時間を短くするため、2月中の例会では、卓話を省略し、食事を持ち帰り可能な弁当とするという形式で実施しております。年度の残りの期間におきましても、このような工夫をしながら、クラブ活動を実施していきたいと思っております。最後に、長岡RCは、4月24日に創立70周年記念式典を、規模を縮小した形式ではございますが、計画どおり実施する予定でおります。COVID-19の新規感染者数等の推移を注視しつつ、記念式典が成功裏に終わるよう会員一同努めてまいります。





地域のためのロータリー

栃尾ロータリークラブ

会長 齋藤 洋介

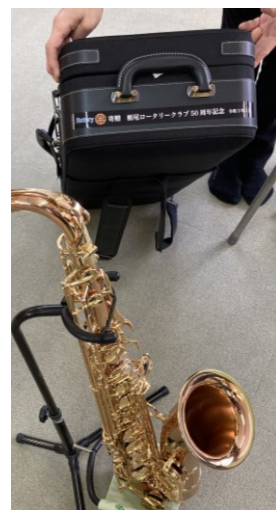
見出しに示しました「地域のためのロータリー」は当クラブの年度テーマとして年初メンバーに示した言葉です。

昨年来のCOVID-19禍で例会開催もままならない期間もありましたが、少しずつではありますが例会の形を制限しながら実施していました。

昨年12月には家族同伴クリスマスパーティーを開催しました。恒例事業ではありますが、今回は来賓者をお呼びしないで親睦委員長から徹底した感染予防策を図っていただいた中でメンバーの身内のみでの開催でした。ロータリーの基盤であります親睦を久しぶりに行うことができ、メンバーにも大変喜んでいただきました。

県下で警報発令と一部地域で緊急事態宣言を受け3月27日に予定していました50周年記念式典を1年繰り越しとしましたが周年事業で当地域の中学校に楽器を贈る事とし、昨年12月に各中学校に手配ができました。3月21日合同演奏会が予定されています。その席上贈呈式を計画しています。また、当クラブ20周年事業で中央公園にクラブ名を示した標柱が老朽化してきており中央公園を含む大規模な整備が行われることを受け標柱をリニューアルする事とし、標語も時代にあったものをと広く公募しまして、先日標語決定いたしました。5月11日に除幕式を予定しています。樹木をなくすとの事で車上からでも良く確認できるものだと思っておりますのでお近くにお越しの際にはぜひ足を止めて見ていただければと思います。

まだまだ続くCOVID-19禍の中でロータリーが地域に何ができるのかという思いを会員と共有しながらクラブ運営を行ってまいります。





10月14日 移動例会（田中飛行場） 『ラジコン飛行機は私の生きがい』

十日町北ロータリークラブ
会長 庭野 敏春

移動例会は会員の池田重夫さんが「生きがい」というラジコン飛行機の見学となりました。当クラブの会員以外の人にも参加を呼び掛け、会場は、池田さん達が主催している十日町ラジコンクラブのホームベース田中飛行場（川治の台地上）で軽飛行機の飛来を見学しました。この田中飛行場は、数十年前に個人が作った飛行場で滑走路が640メートルもあるそうです。そして、屋外で食べる昼食は、池田夫人が振る舞う季節のきのこトシ汁が花を、いや食を添えてくれました。

池田さんが操縦した飛行機は、実物の2分の1という複葉機、調子はもう一つだったようですがフワリと空に舞い上がり、ラジコン飛行機の醍醐味を披露しました。もう1機、アクロバット飛行機も用意したのですが、残念ながら調子が悪く雄飛を披露できませんでした。しかしラジコンクラブ仲間の大島肇さんがダイナミックなジェット飛行機の滑空（時速200km近く）を披露して会員も見とれていました。





新井妙高ロータリークラブの新たなる機会 放課後児童クラブに知育玩具を贈る

新井妙高ロータリークラブ
会長 乗木 邦友

昨今の生活、労働環境の変化により女性の社会進出が急増し、高齢者の雇用体系の変化が進んだ事により、この5年間で妙高地域の放課後児童クラブの利用者数は倍に増加しています。年間利用者数の成果指標も大幅に上回り、児童支援員の人材不足、施設の狭隘化、遊具・玩具・文房具の不足等、様々な課題が発生しています。又、今回のCOVID-19の影響により更に利用児童は増え3密になりやすい環境にもあります。

今回、新井妙高ロータリークラブは、放課後児童クラブの環境の改善と利用児童の育成とストレス解消を願い。認知能力の強化や創意工夫の意欲を強化する事に優れ、人間の最も優れた表現器官である手を駆使することで脳の発達を促すとされている知育玩具（レゴブロック）を放課後児童クラブに寄贈する事業を致しました。

まずは、新井妙高ロータリークラブ会員全員が今回の事業を理解し、共有出来る時間を創るために、放課後児童クラブを運営するNPO法人ゆめきゅんぱす代表理事 児玉 久美子様より「放課後児童クラブの現状と課題について」の卓話を頂き。妙高市教育委員会 こども教育課課長 松橋 守様より「妙高市の子育て支援に関する取り組みについて」の卓話を頂きました。この卓話から会員皆で学び、知り、動く事業に成ったのではないかと思います。

松橋様の卓話の後、新井妙高ロータリークラブから妙高市への贈呈式を行いました。その後、妙高市内8つの放課後児童クラブへ知育玩具（レゴブロック）を児童に渡して来ました。レゴブロックを見た時の児童の笑顔と歓喜「あっ！レゴだ！やった～ありがとう」と言った途端に袋を開け組み出す児童、皆が集まるまで大切に保管する児童等々、様々な笑顔と心温まる行動を頂きました。後日、各児童クラブにアンケートを取り、児童と職員の今回の事業への満足度100%に会員一同喜び、アンケートから頂いたご意見ご要望を精査し、これからの事業に何らかの形として繋げていきたいと思っています。又、COVID-19が収束しましたら会員一同で児童クラブへの訪問交流が出来たらと思います。





COVID-19禍でのクラブ運営

頸北ロータリークラブ

会長 伴野 正明

前年度後半2月から、緊急事態宣言下集会が禁止され休会が続き、地区からの推奨もありZoomでの例会の試行、会食を無くして弁当持ちかえりで時間短縮での例会と試行してきました。新年度になっても第2波、第3波と続いたため、例会場の席の配置を変えて、3密を避ける工夫をしながら、実例会を開催してきました。青少年奉仕の少年テニス大会は開催されましたが、地域社会奉仕の地域ゲートボール大会は高齢者が多いこともあり中止になりました。海岸清掃事業も蜜を避ける方針で実施中止になりました。今年度はIMの主催とクラブ創立40周年行事が予定されていましたが、3密回避のためIMは参加者を半減させての実施、40周年のセレモニーは中止にしました。そうした中での社会奉仕を考え、地域で色々な形でやられているボランティア活動に注目して、各団体の方に卓話に来ていただき勉強させていただきました。その中の一つで、就労支援事業を行っている「ふれんどり～ミルはまなす」の所長中野公晴氏のお話から、障がい者就労支援活動を行っているところ、COVID-19禍でイベントの中止によりジャムやコロッケ、お惣菜の販売量が減ってしまったこと、食品加工品の販売量を増やすために必要な急速冷却器ブラストチラーの購入予算に苦慮していることを知りました。ブラストチラーとは加熱調理品を急速冷却し細菌が増殖する約10℃から65℃の温度帯を一気に通過させ3℃に冷却することにより、安全に「味」「うまみ成分」を保ち作り置きできるものです。そこで「ふれんどり～ミルはまなす」への支援を考えました。今年度IMを主催しますので、その時の登録者全員へお土産として、販売品のジャム340個を購入して就労支援にしました。クラブ創立40周年事業の関連で社会奉仕としてブラストチラー購入補助を行うことにしました。密を避けるため、贈呈式典はやりません。このような工夫により身近な所に社会奉仕の支援を行う計画をしました。少ない会員数ですが、密を回避しながら奉仕のための例会を続けています。

地区主要行事予定3月-4月

2021年2月26日現在

年 月 日			行 事		会 場			
2021年 (R3) 佐藤年度	3月	水と衛生月間						
		3	(水)	第7回日台ロータリー親善会議 →中止	オンライン会議 ホテルイタリア軒 WEB配信 ANAクラウンプラザホテル オンライン 燕市吉田産業会館 ヒスイ王国館 万代シルバーホテル オンライン会議 栃尾産業交流センターおりなす 関西 台北市			
		5	-(金)-	第11回DL研修会 →延期				
		6	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会 会員増強セミナー（戦略広報含）				
		13	(土)	高尾年度 クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）				
		13~14	(土~日)	ローターアクト全国研修会				
		20	-(土)-	第4分区IM（丸山G補佐・吉田） →6/19に延期				
		25	(木)	糸魚川RC創立60周年記念式典 ※縮小開催				
		27	-(土)-	財団ミーティング →中止				
		27	-(土)-	第12回DL研修会 →延期				
		27	-(土)-	栃尾RC創立50周年記念 →延期				
		25~28	-(木~日)-	インターアクト海外研修（台湾研修3泊4日） →中止 青少年交換学生 2021関西研修旅行 →中止 インターアクト国際交流事業 →中止				
		4月	母子の健康月間					
			3	(土)		米山カウンセラー研修会	ANAクラウンプラザホテル ANAクラウンプラザホテル 万代シルバーホテル 万代シルバーホテル ホテルセンチュリーイカヤ ホテルセンチュリーイカヤ ANAクラウンプラザホテル オンライン会議 新発田市市民文化会館 長岡グランドホテル タビスパル新潟 オンライン会議	
	10		(土)	ローターアクト 第51回地区大会				
	10		-(土)-	ロータリー財団地区奨学生選考試験 →中止				
	10		-(土)-	財団ミーティング →中止				
	11		-(日)-	頸北RC40周年記念 →中止				
	11		(日)	第7分区IM（倉茂G補佐・頸北） ※縮小開催				
	17		(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓送会				
	17		-(土)-	第13回DL研修会 →延期				
	18		(日)	佐藤年度 地区大会				
	24		(土)	長岡RC創立70周年記念式典				
	24		-(土)-	第3回派遣学生オリエンテーション →中止 三条ローターアクトクラブ49周年記念式典				
	24		-(土)-	第14回DL研修会 →延期				
	25		-(日)-	第1回RLIパート1 →中止				

新入会員紹介（敬称略）

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
白根	内山 幸紀	2021.1.7	ファームきずな	代表	農業、飲食物販売
高田	山口 海	2021.1.8	平安セレモニ（株）	執行役員ブライダル事業部次長	総合結婚式場
高田	石黒 孝良	2021.1.22	えちごトキめき鉄道（株）	常務取締役 経営企画部長兼営業部長	鉄道事業
水原	遠藤 和人	2021.1.27	丸三安田瓦工業（株）	代表取締役	瓦製造業・屋根工事業
吉田	岡山 秀義	2021.2.1	浄専寺	住職	仏教（浄土真宗本願寺派）

訃報（敬称略）

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
三条北	渡辺 はま子	2021.1.1	(有)オフィス・フルール	代表取締役	健康美容機器等販売	

第2560地区 2020-21年度1月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2020年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	✓	-	387	390	38	3
新発田	0	27.8%	95	97	0	2
村上	2	16.7%	40	42	10	2
水原	3	21.9%	30	32	1	2
中条	2	90.5%	43	42	3	-1
新発田城南	3	16.7%	44	42	4	-2
豊栄	3	13.0%	23	23	4	0
新発田中央	3	4.3%	45	46	4	1
中条胎内	4	56.8%	36	36	6	0
村上岩船	0	23.3%	31	30	6	-1
第2分区(9クラブ)	✓	-	435	450	28	15
新潟	3	20.2%	88	89	2	1
新潟東	4	13.8%	63	65	9	2
新潟南	3	32.7%	98	107	3	9
佐渡	2	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	52.6%	38	38	2	0
佐渡南	2	12.5%	40	40	5	0
新潟北	2	30.0%	39	40	0	1
新潟中央	3	39.1%	20	23	0	3
新潟万代	2	52.4%	43	42	7	-1
第3分区(6クラブ)	✓	-	103	99	4	-4
新津	3	11.8%	17	17	0	0
村松	4	66.7%	12	12	0	0
五泉	2	0.0%	12	12	1	0
白根	4	30.0%	30	29	1	-1
新津中央	3	37.5%	26	23	2	-3
阿賀野川ライン	1	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)	✓	-	372	373	27	1
三条	3	10.0%	60	60	0	0
燕	1	5.6%	36	36	3	0
加茂	4	9.1%	30	33	5	3
三条南	2	13.6%	45	44	2	-1
分水	3	80.0%	30	30	4	0
見附	2	9.1%	22	22	1	0
吉田	2	6.9%	26	29	4	3
三条北	4	0.0%	60	56	2	-4
巻	3	0.0%	23	24	2	1
田上あじさい	4	14.3%	7	7	1	0
三条東	2	6.3%	33	32	3	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2020年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	✓	-	306	305	27	-1
長岡	3	89.6%	49	48	4	-1
柏崎	2	2.4%	42	42	0	0
長岡東	3	25.9%	57	58	3	1
柏崎東	2	18.2%	46	44	3	-2
栃尾	3	12.0%	24	25	0	1
長岡西	3	20.0%	52	50	5	-2
柏崎中央	2	23.1%	36	38	12	2
第6分区(6クラブ)	✓	-	130	135	11	5
十日町	3	28.1%	29	32	3	3
小千谷	3	10.0%	27	30	3	3
雪国魚沼	2	16.7%	24	24	3	0
十日町北	3	0.0%	21	20	1	-1
津南	2	17.4%	23	23	1	0
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分区(8クラブ)	✓	-	338	336	24	-2
高田	3	31.2%	76	77	5	1
直江津	2	36.6%	71	71	6	0
新井妙高	3	12.1%	32	33	1	1
糸魚川	2	83.3%	41	42	3	1
高田東	1	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	2	51.7%	33	29	0	-4
頸北	3	18.2%	11	11	1	0
越後春日山	3	100.0%	38	37	6	-1

クラブ数	56	クラブ
6月30日 会員数	2,068	人
1月末 会員数	2,088	人
女性会員数	159	人
純増減会員数	20	人
My Rotaryアカウント登録率	29.1	%

※12月末からの訂正

12月末日会員数

三条東RC(33名⇒32名)

2560地区合計(2,082名⇒2,081名)

地区戦略計画推進委員会の紹介

「第3地域ロータリーコーディネーター会議」の参考として、近隣5地区に、戦略計画委員会の常設、委員会規定の制定、毎年の検証と次年度への申し送り、構成メンバーの5項目をアンケートでお伺いした結果は、全地区に戦略計画委員会は設置してありましたが、3/5は、規定や毎年の見直しがありませんでした。

私が所属する2700地区も戦略計画委員会の設置は、2016年に組織と規定が整備されたものの、他地区と同様に、構成メンバーが、直近の地区役職者に毎年交代して、RIの新しい情報を共有するメリットはあったものの、デメリットとして、地区の継続計画(5ヶ年計画等の長期計画)の検証と分析による確実な申し送り事項の作成や、ガバナーを経験してから考えつく地区の諸問題等々の分析と提案をするための時間的、地区役職者としての立場等々の問題が見えてきました。

このような問題を解決するために、戦略計画委員会の下部組織として以下のような「地区戦略計画推進委員会」を設置し、戦略計画委員会を支援することで、地区運営の効率が上がっていることを、参考として紹介いたします。(以下抜粋)

目的と任務:

- ・地区戦略計画委員会の下部組織として設置し、戦略計画委員会委員長からの付託を受けて、戦略計画室が検討や審議する事項の資料収集や提言案等を纏め、戦略計画委員会に提出する。

構成員と任期等:

- ・委員会構成メンバーは3名とし、地区運営に詳しい、地区幹事経験者又は地区委員長経験者。
- ・委員の任期は3年を原則として、欠員が生じる場合、地区幹事経験者又は地区委員長経験者から補充する。
- ・委員会の委員長は3名の中から委員長を互選し、委員長任期を3年以内とする。
- ・構成メンバーの他に、顧問として 地区ガバナー経験者1名を置く。

顧問は、戦略計画委員会が推薦する地区ガバナー経験者とし、任期は原則3年とする。

・委員会の会合と場所

委員会は、概ね戦略計画委員会開催の1ヶ月前に開催をするが、戦略計画推進委員会からの開催要望あれば、随時開催して付託に応える。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫（宗像RC）

ロータリー
NEWS

2021年3月号 No.2

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

新型コロナウイルスの感染者が日本で最初に報告されたのは、昨年1月15日に中国・武漢からの帰国者でした。それから1年以上も経ちますが、終息が見えずクラブの活動も縮小しています。

しかしコロナ禍にあっても、ロータリークラブは様々な奉仕活動を実施しています。例えば2640地区（和歌山・大阪南部）は世界ポリオデーに高野山真言宗総本山金剛峯寺で「ポリオ根絶と新型コロナ収束」を祈願する法会を開催されました。宗教や宗派を超え、力を合わせて取り組んでいきたいとのメッセージを添えてfacebookで中継し、メディアでも報道されました。また2660地区（大阪北部）は昨年6月に地区内全クラブ協賛のもと、大阪府および大阪府内医療機関・福祉施設に医療用マスク、防護服、フェイスシールド、災害対策用テントを寄贈し、各病院や府庁での贈呈の様子がメディアに取り上げられました。これら大規模なものに限らず、各クラブが各地域のニーズに応える奉仕活動を行い、その報告を地区ウェブサイトに掲載しています。

コロナ禍によって人々の意識は変わったと思います。何処かで誰かのために役にたちたいと思う方が増えたのではないのでしょうか。これこそが新たな奉仕活動に取り込むチャンスです。地区や他団体と共同で奉仕活動に取り組むことでロータリーの公共イメージが高まります。

従来どおりの奉仕活動が困難となった今こそ、クラブはこれまで以上に創造力を働かせ一つ一つの奉仕活動を工夫してください。そして活動について自ら発信し、地域の人々に知ってもらい、参加してもらうことに繋げましょう。以前から日本のロータリーは他の奉仕団体に比べ、アピールが弱いとも言われています。対外的に発信することは単なるPRではなく情報の交換であり提供です。近隣のクラブの取り組みを自分のクラブに応用すれば新たな奉仕活動が生まれるでしょう。ロータリークラブを知ってもらえれば地域社会から協力のオファーが来るかもしれません。

皆さんの地元での活動がロータリーの名を広めます。そして世界ポリオデーにすべての地区が活動しポリオ根絶を支援すれば、メディアを通じてロータリークラブが世に周知されます。

ロータリアンである皆さんひとりひとりが広報マンになってください。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 片山 勉（大阪東RC）



1. 台湾米山学友会が総会を開催

2020年12月5日、台湾米山学友会の年次総会が台北市内で開催され、学友42人のほか、同学友会が支援する日本人奨学生など、総勢50人が集まりました。今回初の試みとしてYouTubeでのライブ配信が行われ、日本在住の米山学友やロータリアンらが見守るなか、阮偉倫さんの巧みな司会で式典がスタートしました。

まず、郭錦堂^{カクキンドウ}理事長（1984-86／相模原RC／台中文心RC創立会長）の挨拶に続き、当会齋藤直美理事長と柚木裕子事務局長、および、韓国・タイ・関西学友会の各会長と、台湾

出身で元関西学友会会長の何玉翠^{ホーユーツイ}さんから寄せられたビデオメッセージが披露されました。

寄付贈呈セレモニーでは、学友3人と台中文心RCが学友会へ寄付をし、感謝状が贈られました。同学友会では2009年から、台湾の大学・大学院で学ぶ日本人留学生を支援しつづけています。今年度の奨学生6人が会場の中央に立ち、それぞれ流暢な中国語で自己紹介のプレゼンテーションを行い、拍手喝采を受けました。

また、この日は第一期生をはじめとする卒業生も来場し、米山学友との旧交を温めました。



2. 上海で米山学友会総会を開催

中国・上海を拠点とする米山学友会の年次総会が1月16日、上海市内で開かれ、計56人が集まったほか、オンラインで約20人が参加しました。

「同心協力、共創未来」をテーマとした今回の総会では、肖慧潔^{ショウケイセツ}会長（2008-09／東京白金RC、現：東京米山ロータリーEクラブ2750創立会員）の挨拶につづき、当会齋藤直美理事長、柚木裕子事務局長からのビデオメッセージが披露されました。活動・会計報告の後、恒例の表彰式に移りました。今年は、7年連続で会費を納入している学友や、新型コロナウイルス感染拡大時において学友会の支援活動に力を発揮した学友などが選出されました。また、特別賞に輝いたのは学友の長女です。同学友会では、2015年から支援している甘粛省の小学校へのメッセージ集を制作してお



り、そこにぜひ入れてほしいと真っ先に絵を描いて送ってくれたことが受賞理由です。学友会の奉仕活動は次世代の子どもたちにも広がっています。

今年は残念ながら日本からの参加はあ

りませんでした。日本のロータリー100周年バッジを胸に付けた学友も多くみられました。当日ゲストとして参加し、長年同学友会を見守ってきた上海RCの山根基宏会員は、「私は最近、ロータリーとは“何か行動を起こしたい人たちのためのプラットフォーム”だと感じている。米山学友の皆さんは、国内の子どもの教育支援をしている。寄付を募れば、たった半日で目標金額に到達する。活動にアイデアがあり、学び合いの場もある。これはまさに、ロータリー精神の実践そのもの」と、語りました。

3. 寄付金速報 — 2021 年はやや厳しいスタート —

1 月までの寄付金は前年同期と比べて 1.1% 減(普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:1.1%減)、約 1,100 万円の減少となりました。1 月に入金された単月寄付額は直近 5 年間で最も低く、また、7~1 月の累計寄付額においても 2016 年度に次いで低い寄付額でした。緊急事態宣言が再

発出された自治体では例会を休会するクラブが多く、これが大きく影響していると考えられます。大変厳しい状況ではありますが、皆さまにおかれましてはまずは健康にご留意いただき、引き続き当事業へのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4. 米山学友を中心とする衛星クラブが誕生！

第 2570 地区(埼玉県)で米山学友を中心とする衛星クラブ、和光 21 幸魂^{さきたま}ロータリー衛星クラブ(スポンサークラブ:和光 RC)が 12 月 21 日付で認証を受け、誕生しました。

衛星クラブとは既存のクラブの中に作られるクラブで、8 人の会員で結成が可能。国内には現在 23 の衛星クラブがあります。衛星クラブ会員はスポンサークラブの正会員ですが、独立して例会を開き、細則や理事会も独自のものとなります。

和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブでは創立会員 8 人のうち 6 人が米山学友で、創立議長は同地区米山学友会会長も務める周大亮^{シェウダイリョウ}さん



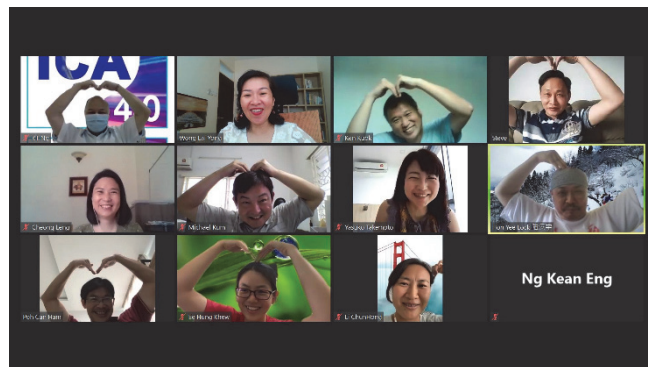
設立に向け Zoom を使って真剣議論

(2011-13/秩父 RC)、幹事は陳伊涵^{チンイハン}さん(2016-18/富士見 RC)です。クラブ名の幸魂は、和光市に掛かる埼玉有数の橋、幸魂大橋に由来しています。2 月 13 日の初例会は、緊急事態宣言下にあるため小規模で実施予定です。

都内でリラクゼーション事業などを展開する周議長は、新型コロナウイルスにより苦しい経営を余儀なくされています。しかしそれでも、「一番大変だった時期に奨学金をいただけたからこそ今の私がある。米山奨学金の醍醐味は、奨学期間が終わった後もつながり続けることができること。つながる形の一つとして、ロータリアンになる道もあるということを含め、後輩たちに自分の背中を見てほしい」と、話します。

5. マレーシア学友会がオンライン勉強会

マレーシア米山学友会では 1 月 24 日、Zoom による勉強会を開き、12 人が参加しました。テーマは、数年前から日本でも注目を集める製造業のデジタル化、「インダストリー 4.0」についてです。講師は、同学友会の副会長であり、この分野のコンサルタントを仕事としているンケアン エンさん(1998-2000/室蘭東 RC)。ンさんは、コロナで打撃を受けている国内製造業の改善に向けて奮闘中です。参加者からは積極的な質疑応答があり、事業協力のアイデアも出



るなど、有意義な勉強会となりました。

台湾国際大会がバーチャル開催となったことに伴い、2021 年 6 月 12 日に予定されていた「出合い in 台湾」は開催見合わせとなりました。今後の開催時期や場所については現在、台湾米山学友会や他の学友会で検討しています。決まり次第、お知らせします。